
第 48 回 神 戸 港 港 湾 審 議 会

議 事 録

第48回神戸港港湾審議会

1. 会議の日時及び場所

- (1) 日 時 令和元年6月6日(木) 午後1時57分開会
(2) 場 所 神戸市役所1号館14階 AV1会議室

2. 出席委員の氏名

(1) 学識経験者

加藤 恵 正	竹林 幹 雄
古 庄 雅 生	伊 藤 秀 和
石 黒 一 彦	山 縣 宣 彦
池 田 薫	今 西 珠 美
東 恵 子	

(2) 市会議員

坊 やすなが	松 本 のり子
堂 下 豊 史	川 内 清 尚
高 橋 としえ	

(3) 港湾関係者

植 村 武 雄
木 戸 貴 文 (代理 岡 本 俊 樹)
久 保 昌 三 (代理 稲 田 重 彦)
須 藤 明 彦
若 松 康 裕
小見山 純 郎
浦 隆 幸
吉 岡 幸 治 (代理 高 島 弘 司)

(4) 関係行政機関の職員

荒 木 一 聡 (代理 達 可 明 朗)
黒 川 純一良 (代理 奥 谷 丈)
加 瀬 和 浩
吉 田 正 彦 (代理 鶉 山 久)
石 川 紀 (代理 大 庭 則 和)

以上、出席委員 27 名

欠席委員 9 名

3. 議事の経過概要及びその結果

(1) 開会

(2) 委員の紹介

(3) 委員の出席状況報告

委員総数 36 名中出席委員 27 名であり、本会議は有効に成立していることを報告

(4) 副市長挨拶

(5) 議事録署名人指名

(6) 神戸港港湾計画の一部変更について

松木港湾計画課長から説明

(資料-1 神戸港港湾計画 (一部変更) について (諮問) (写))

(資料-1 (1) 神戸港港湾計画書 (案) -一部変更-)

(資料-1 (2) 神戸港港湾計画資料 (案) -一部変更-)

[質疑等要旨]

(委員) 今回の変更について、ユーザーからどのような事業計画が出されているのか。

(事務局) コンテナターミナルを管理運営する“阪神国際港湾株式会社”からの変更計画の提案に基づいて手続きをとっている。

(委員) 莫大な設備投資だと思うので、わかる範囲でもう少し教えてほしい。

(事務局) 阪神国際港湾株式会社はユーザーから事業計画を出して頂き、リスク設定を行い、貸付を行っている。今回は計画の段階のため、今後内容を詰めた上で適切な貸付料等を設定されると考えている。

(委員) 今回のバース拡張にかかる事業費はいくらか。

(事務局) まだ予算段階で概算ではあるが、用地代等含めて約 60 億円の予定である。

(委員) PI-K までコンテナバースを広げると今後、一度に本船が 3 隻入ってくる。そうなる
と、雇用も増やさないと対応できないと思われるため、神戸市から、または阪神国際
港湾株式会社からユーザーに雇用の拡大を求めるべきと思う。

また、現状でも本船が 2 隻入っている状況で、道路が渋滞しているため、3 隻入っ
てくるとますます道路の渋滞が懸念されるのではないか。

(事務局) 「コンテナ貨物量＝港湾労働者」と必ずしも比例するものではないと思うが、この取
り組みにより、神戸港で働く港湾労働者の雇用は確保されるものと考えている。

渋滞については、今回のヤードの拡張によってターミナルの運営効率が上がるため、
むしろ緩和されると考えている。

(委員) 本船荷役の作業が優先されると聞いているが、この取り組みにより緩和されるのか。

(事務局) 一般的にはコンテナターミナルに導入されている車両員は限られているため、本船
荷役を優先させているが、入ってくる車両を止めている訳ではない。そのため、限ら
れた人数で行っているが、作業の効率化が図られれば、渋滞の解消には役立つと考え
ている。

(委員) 労働者の確保をユーザーに求めていくと考えていいのか。

(事務局) 一般的な話として、神戸港の貨物量の増加により、働く人の雇用も増えていくと考
えている。

(委員) 労働者の確保について、神戸市としての姿勢はあるのかお聞きする。

(事務局) 港湾管理者の一番大きな仕事としては、物流をしっかり確保できるだけの環境整備をユーザーの要望を踏まえて整えていくことで、物流を増やしていくことが一つの大きな仕事と考えている。結果として仕事量が増えるということである。仕事量が増えた中でどのような対応をされるかについては、企業の方が考えられることではないかと考えている。

(委員) それぞれの企業が考えるという立場ではなく、神戸市も考える立場に立っていただきたいと考えるがどうか。

(事務局) 繰り返しになるが、基本的に物流の確保ができる環境を整えていくことが港湾管理者の仕事であり、それに伴い、神戸港の競争力をつけていくことが一番と考えている。その中で、事業者の話を伺いながら、必要な整備を進めていくことが必要と思っている。

(委員) 今回、莫大な投資をする以上は、細かな計画までユーザーにも出していただきながら、進めていただきたい。

(委員) 輸出港の場合、空コンテナの確保が非常に大事だが、対応できると理解してよいか。

(事務局) 十分に空コンテナを供給できる態勢はとっているが、現状、手狭になっているため、できるだけ効率的な運営をしたいことから、今回の計画変更に至っている。

(委員) 今回ターミナルとして拡張する箇所は、現状はシャーシ置場とのことだが、これはどうなるのか。

(事務局) 現在この場所はシャーシ置場と一部建設機械の輸出基地となっている。両事業者には、ポートアイランド内の別の地区に移転していただく方向で、概ね合意をさせていただいており、引き続きポートアイランドの中で事業を継続いただけるということである。

以上の審議の結果、満場一致により原案を可決した。

(7) 閉会

上記議事録は議事の内容を正確に記録したものであることを証明する。

令和元年 7月 5日

会長 加藤 恵正



委員 今西 珠美



委員 須藤 明彦

